

第5回 佐伯市廃棄物減量等推進審議会議事録（抄録）

開催日時 令和5年5月26日（金） 10:00～12:00  
開催場所 所在地 佐伯市東浜1番38号  
会場名 エコセンター番匠 2階大会議室  
出席者 委員15名のうち、14名出席（欠席1名）  
首藤部長、石田課長、清家補佐、吉岡補佐、羽明総括、山田、三浦  
傍聴者 0名

\*\*\*\*\*

- 1 開 会 市民生活部長による開会あいさつ
- 2 委嘱状交付 後任となる補欠委員への委嘱状交付  
副会長選出 副会長には大塚委員を選出
- 3 会長あいさつ
- 4 議 事  
(1) 議題1 第2次佐伯市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）について  
(2) 議題2 指定ごみ袋の見直し（アンケート結果）等について  
事務局説明の後、3つの班でグループ討論を行い、以下の意見が出された。

【議題1 計画素案について】

◆1班（住民グループ）

- ・集積所に指定ごみ袋を使っていない住民がいるので、広報や啓発の仕方を工夫してほしい。
- ・特に転入者は出し方がわからない人も多いと思われるので、アパート等を管理する会社等に協力を仰ぐと効果があるのではないか。
- ・ごみを減量するために、リユースショップやリサイクルショップ情報の紹介等にもっと力を入れてほしい。

◆2班（環境・事業グループ）

○レジ袋の削減とマイバッグの普及

- ・スーパー等、大分県では普及していると思う。
- ・ペットボトルの回収の強化。そしてリサイクル（ペットボトルからペットボトル、エプロン）企業も努力している。
- ・コンビニに行くとレジ袋をもらってしまうが、ごみを入れたりして再利用している。
- ・マイバッグは好きではない。（清潔ではない気がする。）
- ・レジ袋も廃油で製作していると聞いたから、燃やしてもよいのでは。
- ・マイバッグを持つのが当たり前だったが、考えの違いがあることを知った。良いものと思う。

○環境教育及び啓発活動の推進

- ・もう少し学校教育の中にごみや環境についての教育を組み込めないかと思う（評価○→△）
- ・賞味期限と消費期限の違いを教育すべき。
- ・ペットボトルやトレイを洗浄した場合、環境汚染・環境負荷ではデメリット。

○過剰包装削減の取組

- ・トレイがごみになる。しかし、企業としては見栄えや衛生面（ドリップ）を考えてトレイを使用している。店舗で回収を行っている。しかし持っていくのが大変。回収すればごみの減量になる。

- ・段ボールに新聞紙を入れると回収しない（※今は回収する）束ねると間違いなく回収する。

#### ○生ごみに関する減量化の推進

- ・多いと燃料費がかかる

#### ○もったいねえを合言葉にした再利用を推進

- ・賞味期限に注意している（買いすぎ防止）1日過ぎたら廃棄してしまう。
- ・段ボールが多いが、引き取り単価が下がっている（通販で段ボールが増加している。）
- ・ペットボトルキャップを収集していたが・・・ごみなのか？再開できないか（資源物、ワクチン）大手起業は実施しているが、コストがかかるため中小企業では厳しい。大分県も動いている。大分市ではプラ回収している。

#### ◆3班（処理業グループ）

- ・紙は、リサイクル業者としては、ひもで十字縛るのが良い。  
袋では禁忌（きんき）品あり（弁当カラ、マスク、ティッシュなど）
- ・分別が悪いものがあるが、資源が含まれているので取り残しできず収集している。  
反省しないのではないか。
- ・市報などあまり見ないので、こども向けに特化したイベントなどで啓発すべき。  
意識が高い人はすでに取り組んでいる。
- ・集積所の看板で「分別ルール」を載せないか。
- ・日本のリサイクル率（40パーセント）上勝町では80%以上となっている。  
小さい頃から習慣づけが必要。→ 廃品回収や学校の取組をすすめるべき。

#### 【議題2 指定ごみ袋、廃プラスチック対策】

##### ◆1班（住民グループ）

- ・45Lの袋は継続して販売してほしい。
- ・45Lと20Lの袋の間の大きさの袋がないので、30Lの袋も作ってほしい。
- ・ごみの量が少ないのに45Lの袋で集積所にごみを出している人も多いので、20Lの袋が販売されていることをもっと広報した方がいいのではないか。
- ・プラスチックの分別については、環境のためになるのであれば実施した方が良くと思うが、完全にリサイクル（再資源化）されないのであれば、現在の分別方法を維持した方が良く。
- ・ごみの分別について、分別の目的等を市民に広報や啓発を行ってほしい。

##### ◆2班（環境・事業グループ）

- ・ごみ袋の中サイズを作って欲しい。
- ・資源ごみ（紙）商工会で古紙回収をしているが、それを入れる紙袋が無い。（米袋に入れている。）
- ・指定ごみ袋（燃えるごみ用）が、破れやすいのが気になる。
- ・色々な種類を作成すると良いと思う。
- ・メイドインジャパンかと思っていた。

##### ◆3班（処理業グループ）

- ・大分市では、廃プラを乾燥機に入れてでも取り組んでいる。資源化する意識があれば廃プラの分別も協力してもらえと思う。
- ・廃プラの分別には、収集から処理までの経費が増えるため、市民負担を上げる必要はある。
- ・中サイズの袋の導入は、必要性を調査しては。（月曜と木曜では木曜が少ないため、実際に量を比較するなど）

・廃プラは、拠点回収（学校など）してはどうか。環境教育にもなる。

- 5 その他 (1) 今後の予定 (次回の審議会は、7月開催予定。)
- (2) 事務連絡 (熊本市と佐伯市のごみ処理経費と財源の比較)
  
- 6 閉会 (清掃課長による閉会あいさつ)